

各 位

2014年6月9日

本店所在地 東京都港区六本木一丁目6番1号
会 社 名 SBIホールディングス株式会社
(コード番号8473 東証第一部)
代 表 者 代表取締役社長 北尾吉孝
問い合わせ先 責任者役職名 取締役常務
森田俊平
電 話 番 号 03-6229-0100 (代表)

SBI貯蓄銀行の増資に関するお知らせ

当社子会社である韓国の株式会社 SBI 貯蓄銀行（以下、「SBI 1 貯蓄銀行」）および株式会社 SBI 2 貯蓄銀行（以下、「SBI 2 貯蓄銀行」）は、このたび総額 1,800 億ウォン（約 180 億円、1 韓国ウォン=0.100 円で換算）の増資を実施することになりましたのでお知らせいたします。なお、今回の増資引受に対する払込資金については、当社子会社が韓国国内において現地金融機関等から調達する予定となっております。

記

1. 増資の理由および今後の見通し

当社グループでは、SBI 1 貯蓄銀行およびその傘下銀行（以下、「SBI 貯蓄銀行グループ」）が実施する増資に際しては以前から当社グループ外の金融機関や投資家等から資金拠出を受けることも検討してまいりましたが、このたび韓国国内において現地金融機関等から資金調達することが可能となったことから、本件増資を実施することといたしました。

今回の増資資金のうち、1,300 億ウォン（約 130 億円）については現地の大手生命保険会社を中心とした機関投資家から当社子会社が協調融資を受けて資金調達を行っており、残りの 500 億ウォン（約 50 億円）についても今後韓国国内の金融機関等から資金調達することを検討しております。

今回の増資により、SBI 1 貯蓄銀行および SBI 2 貯蓄銀行の 2014 年 6 月末基準での自己資本比率はいずれも 8%を超える見込みです。

SBI 貯蓄銀行グループでは、収益力の強化に向け、不良債権の売却など債権回収に注力するとともに、中堅・中小企業や個人向けの貸出債権の拡大に向けた営業展開を推進しており、国際会計基準（IFRS）に基づく当社連結業績においては、2014 年 3 月期通期で約 40 億円の税引前利益を計上するなど同行グループの業績は堅調に推移しております。

このたびの増資により、韓国会計基準に基づく財務基盤を更に強化するとともに、調達した資金を活用し、より積極的な事業展開を図ってまいります。また SBI 1 貯蓄銀行は、その傘下銀行との

合併などの組織再編についても検討しており、将来の株式公開に向けた収益力の強化を引き続き進めてまいります。

なお、本件増資による当社連結業績への影響は軽微であります。

2. 取得株式数、取得価額及び異動前後の所有株式の状況

	SBI 1 貯蓄銀行	SBI 2 貯蓄銀行
異動前の当社グループ所有株式数 ならびに議決権所有割合 (※)	149,352,673 株 (96.9%)	64,758,212 株 (98.9%)
引受株式数	26,997,921 株	11,863,200 株
うち、SBI 1 貯蓄銀行を除く 当社グループ引受分	26,997,921 株 (取得価額：1,350 億 韓国ウォン)	8,999,998 株 (取得価額：450 億 韓国ウォン)
うち、SBI 1 貯蓄銀行による引受分	—	2,863,202 株 (取得価額：143 億 韓国ウォン)
異動後の当社グループ所有株式数 ならびに議決権所有割合 (※)	176,350,594 株 (97.4%)	76,621,412 株 (99.0%)

※ SBI 1 貯蓄銀行を通じて所有する株式を含む

3. 日程

(1) SBI 1 貯蓄銀行への増資引受契約締結	2014 年 6 月 11 日 (予定)
(2) SBI 1 貯蓄銀行への増資払込	2014 年 6 月 12 日 (予定)
(3) SBI 2 貯蓄銀行への増資引受契約締結	2014 年 6 月 12 日 (予定)
(4) SBI 2 貯蓄銀行への増資払込	2014 年 6 月 13 日 (予定)

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126